

# 2019年3月期第2四半期 決算補足資料

---

---

2018年11月13日



(東証二部 9857)

2019年3月期 第2四半期 連結決算概要 …… P.3

2019年3月期 連結業績見通し …… P.16

# 2019年3月期第2四半期 連結決算概要

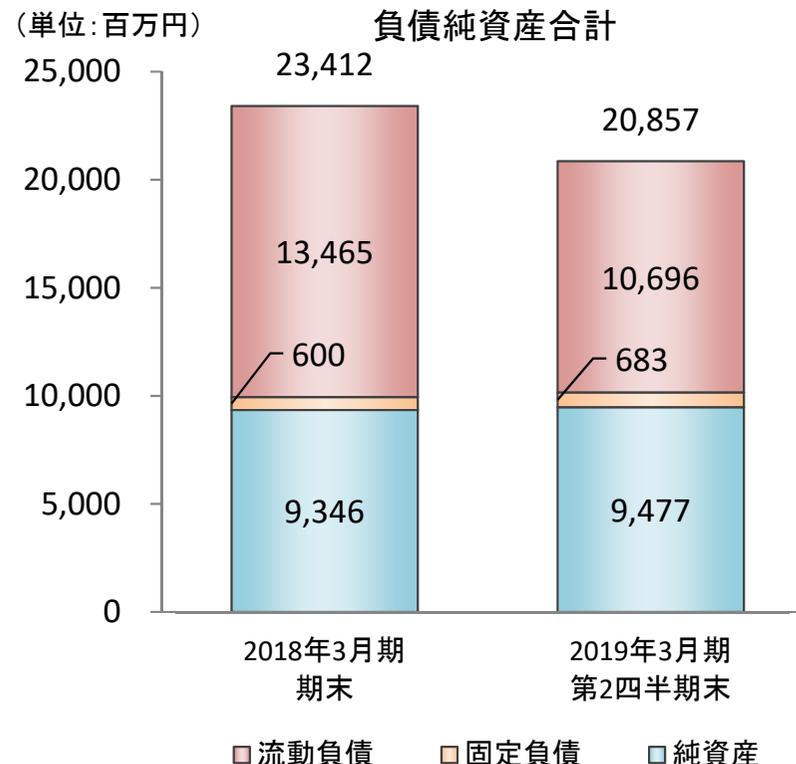
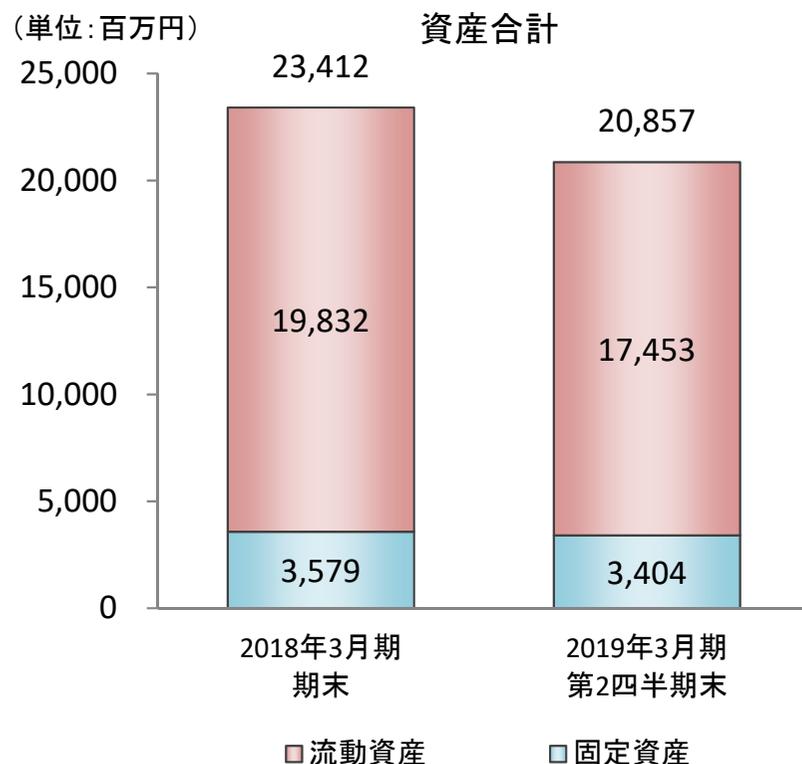
(単位:百万円)	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	前年 同四半期比	2019年3月期 業績見通し
売上高	14,479	16,251	+ 1,771	+ 12.2%	35,500
営業利益	235	458	+ 223	+ 94.8%	1,200
経常利益	307	496	+ 189	+ 61.7%	1,200
親会社株主に帰属する 四半期純利益	168	312	+ 144	+ 86.1%	755

## 決算の概況

- ▶ プラント・エンジニアリング会社向けの販売が減少したものの、前期から続く生産設備の高稼働状況を背景とした設備投資やリプレイス需要が堅調な社会インフラや、化学品製造業、機械製造業、船用機器製造業、電力会社を中心に販売が好調に推移し、前年同四半期比増収増益となりました。

(注) 本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# バランスシート(連結)



## 2019年3月期第2四半期 ハイライト(カッコ内は前期末比)

自己資本比率: 45.4%

### 資産

#### 【増減の主な要因】

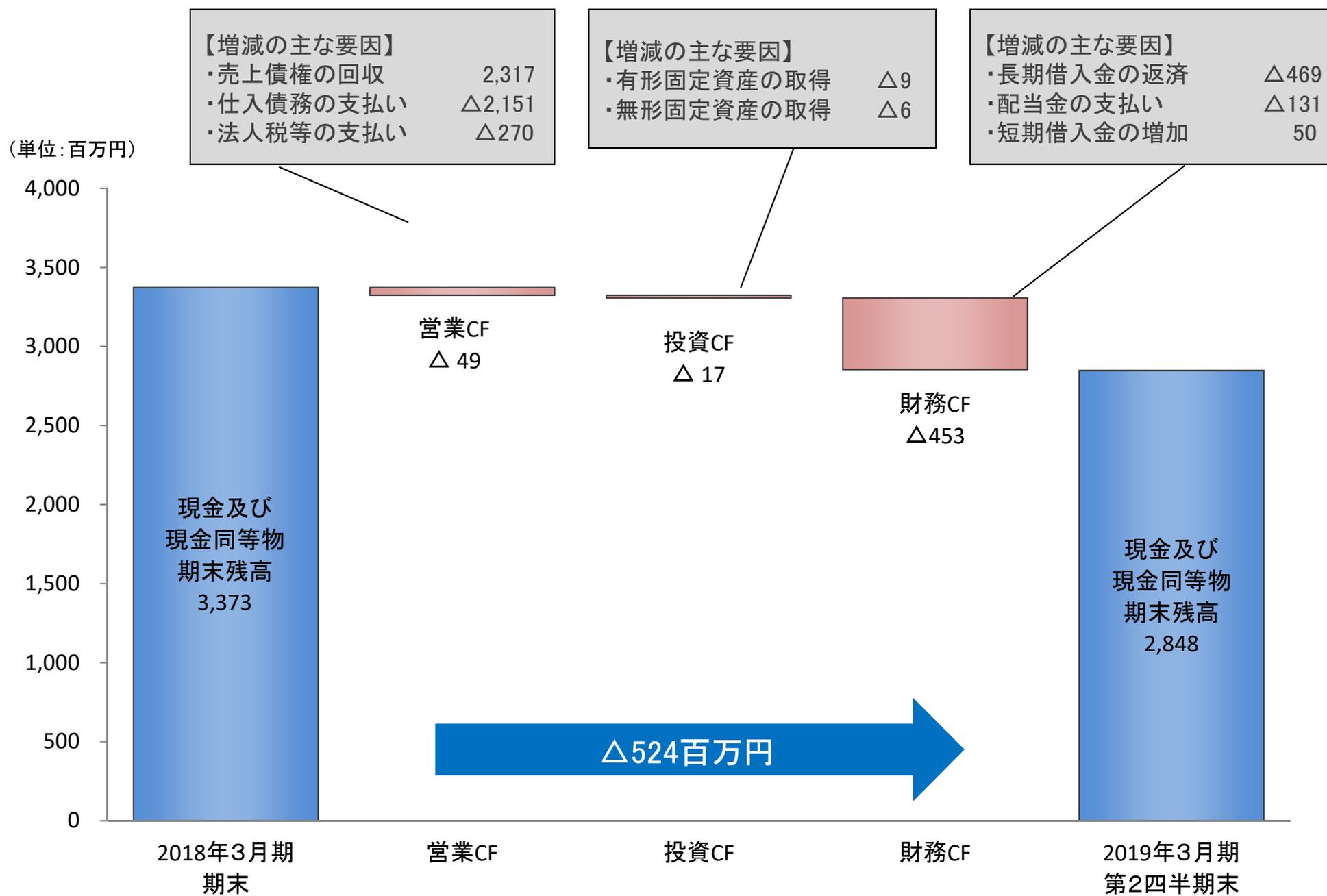
- ◆受取手形及び売掛金: 11,771(△1,954)
  - ◆電子記録債権: 1,676(△365)
- 売上債権の回収が進んだことによる減少

### 負債・純資産

#### 【増減の主な要因】

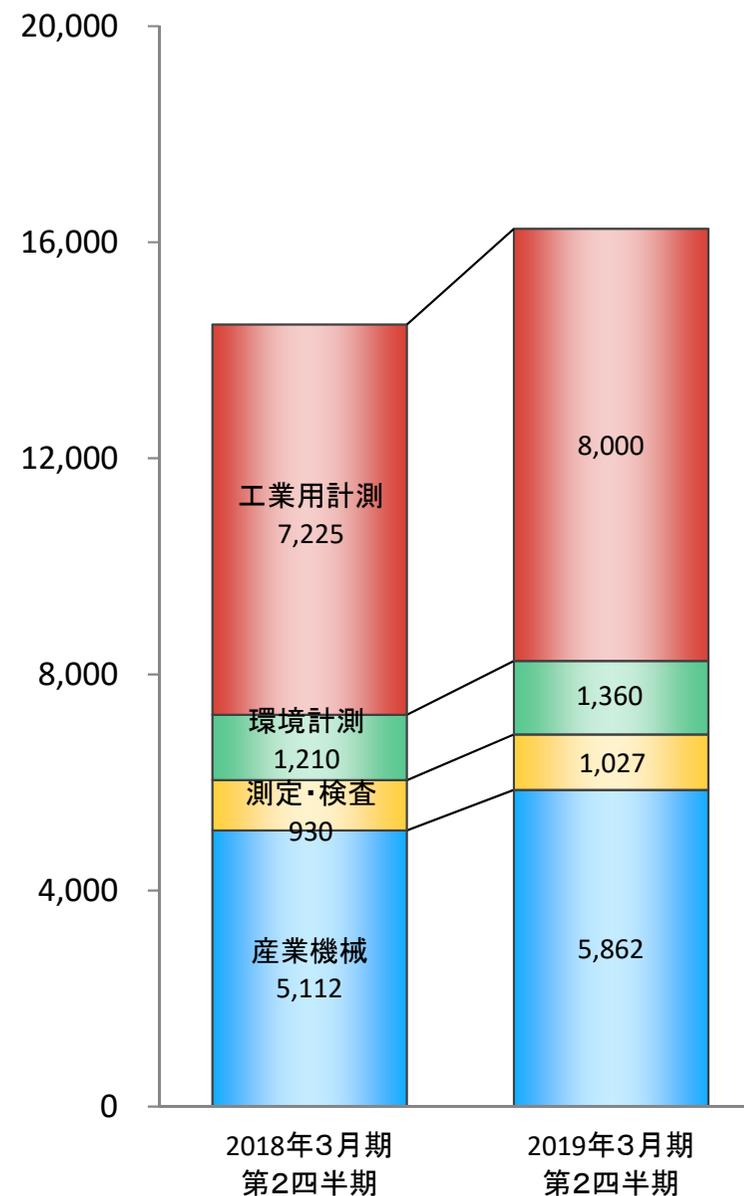
- ◆支払手形及び買掛金: 4,960(△1,108)
  - ◆電子記録債務: 4,410(△1,047)
  - ◆1年内返済予定の長期借入金: 300(△468)
  - ◆純資産: 9,477(+130)
- 仕入債務の決済が進んだことによる減少
- 長期借入金の減少
- 配当の支払いにより減少したが、四半期純利益により増加

# 連結キャッシュ・フロー



(単位:百万円)	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年 同四半期比	構成比
工業用計測 制御機器	7,225	8,000	+ 10.7%	49.2%
環境計測・ 分析機器	1,210	1,360	+ 12.4%	8.4%
測定・ 検査機器	930	1,027	+ 10.5%	6.3%
産業機械	5,112	5,862	+ 14.7%	36.1%
合計	14,479	16,251	+ 12.2%	100.0%

(単位:百万円)

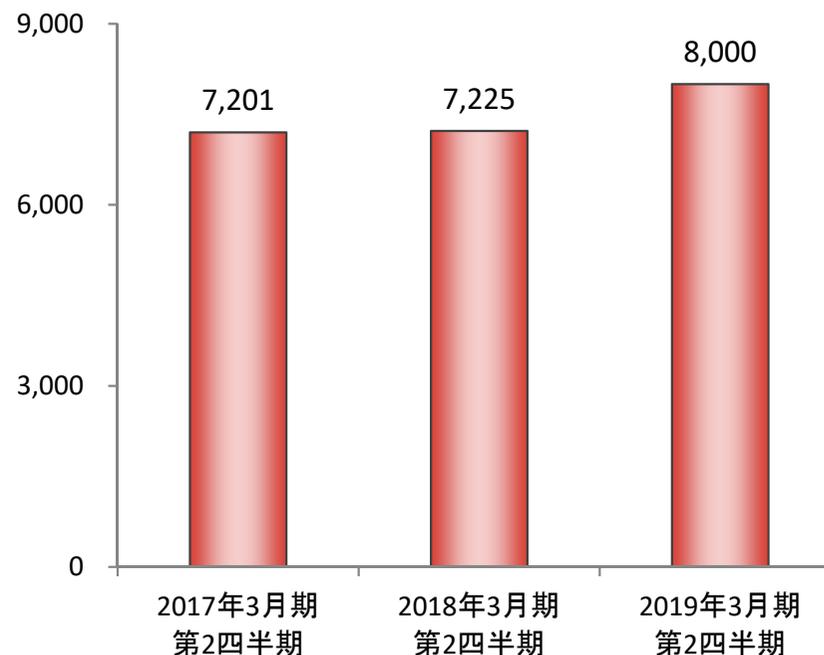


## 工業用計測制御機器

産業技術の基本となる計測制御技術を  
安全性・信頼性で支える。

- ◆工業用センサー
- ◆制御機器
- ◆受信機器
- ◆情報通信・変換機器

(単位:百万円)



### 取扱い商品一例



電波レベル計



記録計

### <当第2四半期売上高>

80億円(前年同四半期比10.7%増)

生産性向上を目的とした自動化や省力化につながるシステムの提案、安全対策や予防保全に関連する機器の提案を実施し、その結果、化学品製造業で定期修理に伴う更新需要を取込んだ他、機械製造業、船用機器製造業向けで各種センサーや情報通信機器の販売が堅調に推移しました。

## 環境計測・分析機器

『事業活動を通じ地球環境保全に貢献し社会的責任を果たす』を重点テーマに、ユーザーの環境改善対策に貢献。

- ◆ 水質・ガス・大気分析機器
- ◆ 気象観測機器
- ◆ 振動・騒音・臭気測定機器

### 取扱い商品一例

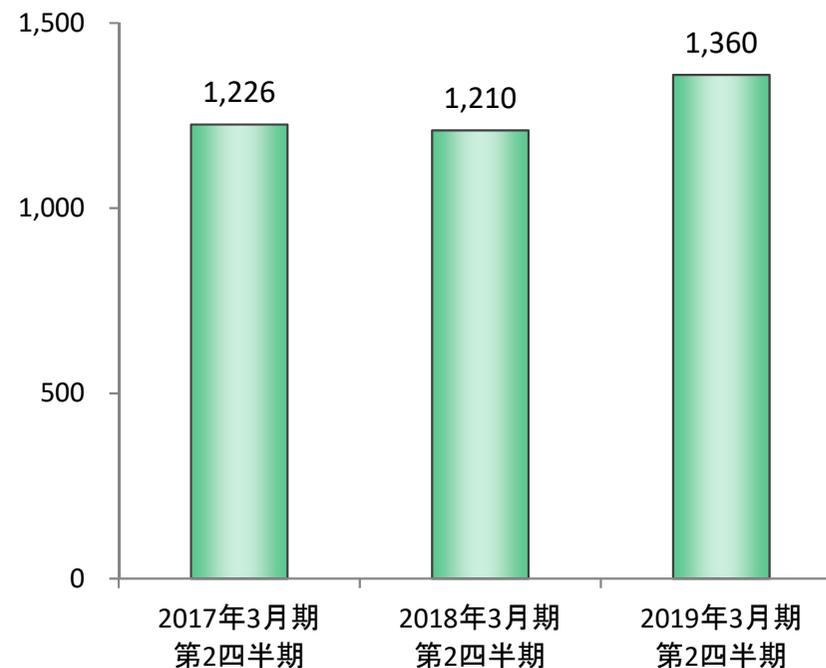


複合ガス検知器



地震計

(単位: 百万円)



### <当第2四半期売上高>

13億60百万円(前年同四半期比12.4%増)

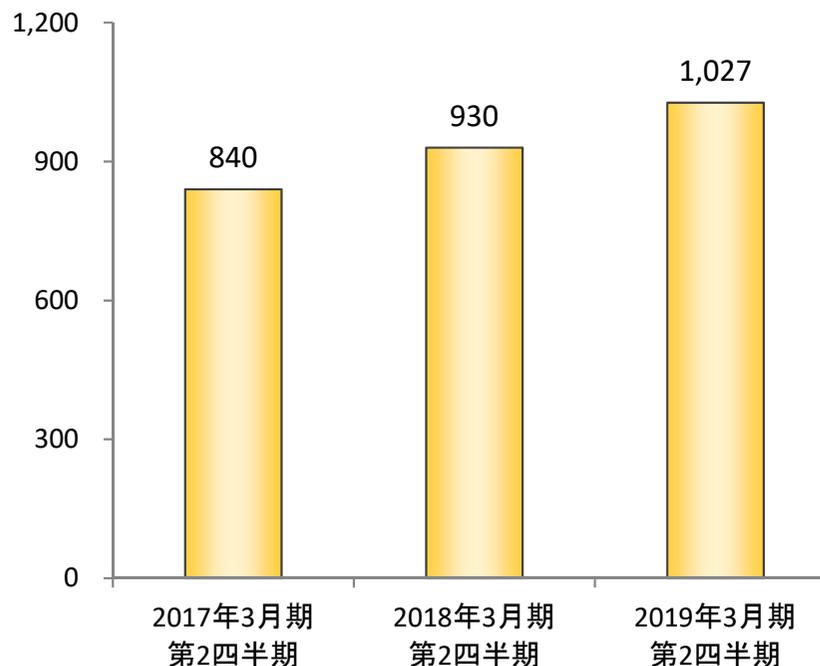
引続き、法規制を背景とした水質や大気等の各種計測機器・分析機器の販売に取組み、老朽化した設備の更新や定期修理需要に関連する機器の需要を取込んだ結果、化学品製造業、機械製造業向けで水質・ガス・大気・振動分析計の販売が増加しました。

## 測定・検査機器

研究開発や製品の検査を確かな品質でサポート。

- ◆形状検査・試験機器
- ◆非破壊検査・試験機器
- ◆材料検査・試験機器
- ◆電力監視機器・システム

(単位:百万円)



### 取扱い商品一例



工業用内視鏡



輪郭形状測定器

### <当第2四半期売上高>

10億27百万円(前年同四半期比10.5%増)

生産技術・研究部門、品質保証部門へ生産設備の保守点検に使用される保安メンテナンス機器、品質と信頼性の向上やトレーサビリティ強化につながる各種検査機器の販売に取組み、その結果、自動車部品製造業向け精密測定機器の販売が増加しました。

## 産業機械

あらゆる生産設備・社会資本設備で活用される産業機械のソリューションを提供。

- ◆油・空圧機器
- ◆ポンプ・バルブ機器
- ◆道路維持機械
- ◆エネルギー関連設備
- ◆各種装置

### 取扱い商品一例



ポンプ



路面清掃車

(単位: 百万円)



### <当第2四半期売上高>

58億62百万円(前年同四半期比14.7%増)

引続き、災害対策に関連する産業車両や産業機器、省エネルギー性の高い機器、定期修理を契機とする機器の更新提案を実施し、その結果、産業車両に関しては、官公庁や建設業向けの販売が堅調に推移しました。また船用機器製造業向けバルブ、機械製造業向け油圧機器、ポンプ類の販売、鉄鋼製品製造業や電力会社を中心に、生産性向上や老朽化した設備に付帯する機器の更新需要が堅調で販売が増加しました。

## 営業拠点網の拡充

### ● 川崎営業所 開所 2018年7月

- ◆ 豊富な商品群を活用し、顧客密着型営業の強化を推進
- ◆ システム・エンジニアリング、フィールドサービス機能を有し、ワンストップソリューションのご提供

◆ 京浜コンビナート地区への取組

◆ 社会インフラ市場への取組



【所在地】  
〒210-0005  
神奈川県川崎市川崎区東田町1番地2(いちご川崎ビル601号室)  
TEL:044-223-3775(代) FAX:044-223-3776



- 本社: 大阪、東京
- その他営業拠点: 34カ所
- 当社子会社: 双葉テック(株)、東武機器(株)(仙台本社、山形、岩手)  
英和双合儀器商貿(上海)有限公司



➤ **メンテナンス管理ソリューションの提供**

- ・保全予測、メンテナンス支援、トラブル処理、定常メンテナンスのご提案
- ・IoT技術を応用した生産設備のメンテナンス、管理のご提案

イメージ図

※当社オリジナルカタログ抜粋



メンテナンスで**何**にお困りでしょうか？ **管理システム**をご提案致します。



**保全予測**  
Predictive Maintenance  
トラブル発生を防ぐ

トラブル発生を未然に防ぐ「保全予知」に特化した支援機能です。操業データをリアルタイムに取得し、プロセス値や出力値の傾向を監視する事で、トラブル発生を未然に防ぐ事が可能です。

チャンピオンデータ設定/リアルタイム制御診断/複合条件設定/デマンド監視/制御動作診断/プロセス値変化率監視/リアルタイムトレンド比較、等

**メンテ支援**  
Real-time Maintenance  
安定操業継続

操業の安定稼働継続を目的とした支援機能になります。操業中のリアルタイムデータと過去データを比較したり、各計測値の相関関係を表示する事で、安定稼働に必要なデータをリアルタイムに参照する事が可能です。

トレンドグラフ比較/アラーム履歴比較/相関グラフ出力/アラーム管理/イベント管理/ロット管理/品質データ入力/重回帰分析/統計データ診断、等

**トラブル処理**  
Trouble Maintenance  
トラブル発生時の迅速・適切な処置

トラブル発生時の迅速・適切な処置を目的とした支援機能です。トラブル発生時に推定原因を絞り込む機能やトラブル処置方法を表示できる機能が含まれ、トラブル復旧に対するオペレータの支援が可能です。

事象診断/復旧対策方法表示/操作履歴管理/メール通報/音声通報/ドキュメント検索/レポートイング、等

**定常メンテ**  
Normal Maintenance  
設備・機器・消耗品管理

定常メンテナンスで使用する設備・機器管理や消耗品管理等の支援機能が含まれます。定常メンテナンス後に作成する点検報告書や点検処置結果報告書等、レポート作成機能も含まれております。

購入品管理/設備・機器管理/保守点検管理/レポートイング/消耗品管理、等

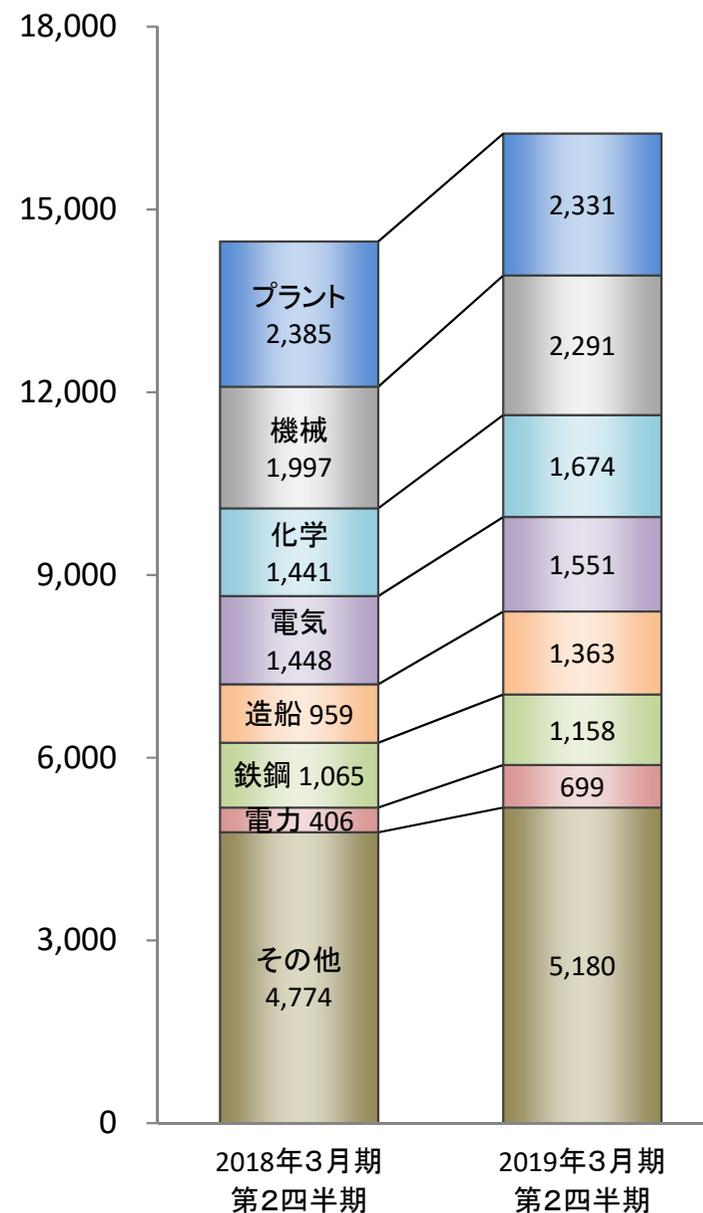
# 業界別売上高

(単位:百万円)	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年 同四半期比	構成比
プラント	2,385	2,331	△ 2.3%	14.3%
機械	1,997	2,291	+ 14.7%	14.1%
化学	1,441	1,674	+ 16.2%	10.3%
電気	1,448	1,551	+ 7.1%	9.6%
造船	959	1,363	+ 42.1%	8.4%
鉄鋼・非鉄金属	1,065	1,158	+ 8.8%	7.1%
電力	406	699	+ 71.9%	4.3%
その他	4,774	5,180	+ 8.5%	31.9%
合計	14,479	16,251	+ 12.2%	100.0%

## 増減要因

- ▶ 定期修理や老朽化した設備に付帯する機器の更新需要を取込み、化学品製造業、鉄鋼製品製造業、電力会社向けの販売が伸長しました。
- ▶ 船用機器製造業向けで法規制に伴う機器の販売が増加しました。
- ▶ プラント・エンジニアリング会社向けで大型案件の引合いが一段落したことにより販売が減少しました。

(単位:百万円)



# 連結貸借対照表

■自己資本比率:5.5ポイント増加し45.4%となりました。  
(2018/03時点39.9%)

## 資産

	2018/03	2019/09	増減額
<b>流動資産</b>	<b>19,832</b>	<b>17,453</b>	<b>△ 2,378</b>
現金及び預金	3,382	2,857	△ 524
受取手形及び売掛金	13,725	11,771	△ 1,954
電子記録債権	2,042	1,676	△ 365
たな卸資産	565	755	190
その他	116	392	275
<b>固定資産</b>	<b>3,579</b>	<b>3,404</b>	<b>△ 175</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>1,424</b>	<b>1,410</b>	<b>△ 13</b>
無形固定資産	51	35	△ 15
投資その他の資産合計	2,104	1,958	△ 146
その他	2,151	2,005	△ 146
貸倒引当金	△ 47	△ 47	0
<b>資産合計</b>	<b>23,412</b>	<b>20,857</b>	<b>△ 2,554</b>

## 負債及び純資産

(単位:百万円)

	2018/03	2019/09	増減額
<b>流動負債</b>	<b>13,465</b>	<b>10,696</b>	<b>△ 2,768</b>
支払手形及び買掛金	6,069	4,960	△ 1,108
電子記録債務	5,457	4,410	△ 1,047
短期借入金	-	50	50
1年内返済予定の長期借入金	768	300	△ 468
引当金	496	327	△ 169
その他	673	648	△ 24
<b>固定負債</b>	<b>600</b>	<b>683</b>	<b>83</b>
長期借入金	100	200	100
引当金	24	25	0
退職給付に係る負債	299	288	△ 10
その他	176	169	△ 6
<b>負債合計</b>	<b>14,065</b>	<b>11,380</b>	<b>△ 2,684</b>
<b>純資産</b>	<b>9,346</b>	<b>9,477</b>	<b>130</b>
株主資本	9,057	9,237	179
その他の包括利益累計額	289	240	△ 49
その他有価証券評価差額金	169	129	△ 39
為替換算調整勘定	13	11	△ 1
その他	106	98	△ 7
<b>負債純資産合計</b>	<b>23,412</b>	<b>20,857</b>	<b>△ 2,554</b>

# 2019年3月期 連結業績見通し

# 2019年3月期計画

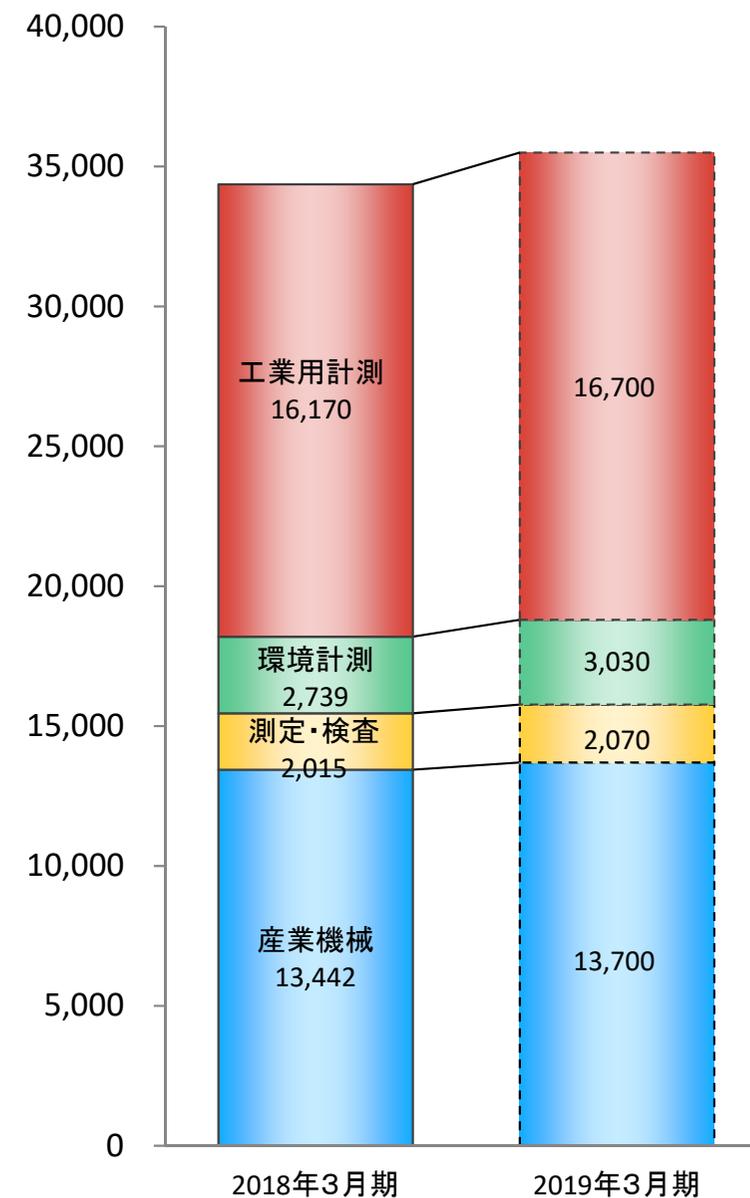
(単位:百万円)	2018年3月期	2019年3月期	増減額	前年同期比
売上高	34,367	35,500	+ 1,132	+ 3.3%
営業利益	1,064	1,200	+ 135	+ 12.8%
経常利益	1,167	1,200	+ 32	+ 2.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	733	755	+ 21	+ 3.0%
1株当たり当期純利益	115.86	119.29	+ 3.43	+ 3.0%

## 見通し

- 当社グループの事業領域においては、社会インフラや民間企業において老朽化した設備の効率化投資や生産性向上につながる設備投資需要が活発で、受注は堅調に推移しており、通期の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも当初予想を上回る見込みであります。このため、2019年3月期の通期連結業績予想につきましては、2018年5月15日に発表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細は、2018年11月1日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

(単位:百万円)	2018年3月期	2019年3月期	前年同期比	構成比
工業用計測 制御機器	16,170	16,700	+ 3.3%	47.1%
環境計測・ 分析機器	2,739	3,030	+ 10.6%	8.5%
測定・ 検査機器	2,015	2,070	+ 2.7%	5.8%
産業機械	13,442	13,700	+ 1.9%	38.6%
合計	34,367	35,500	+ 3.3%	100.0%

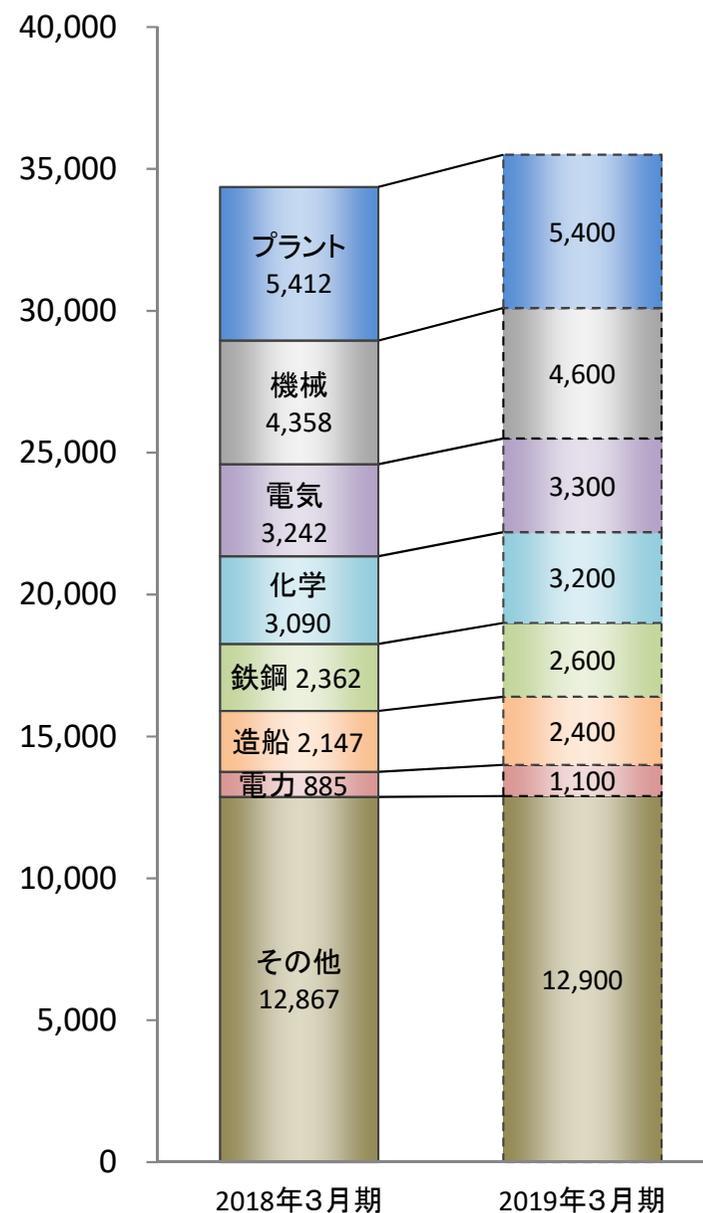
(単位:百万円)



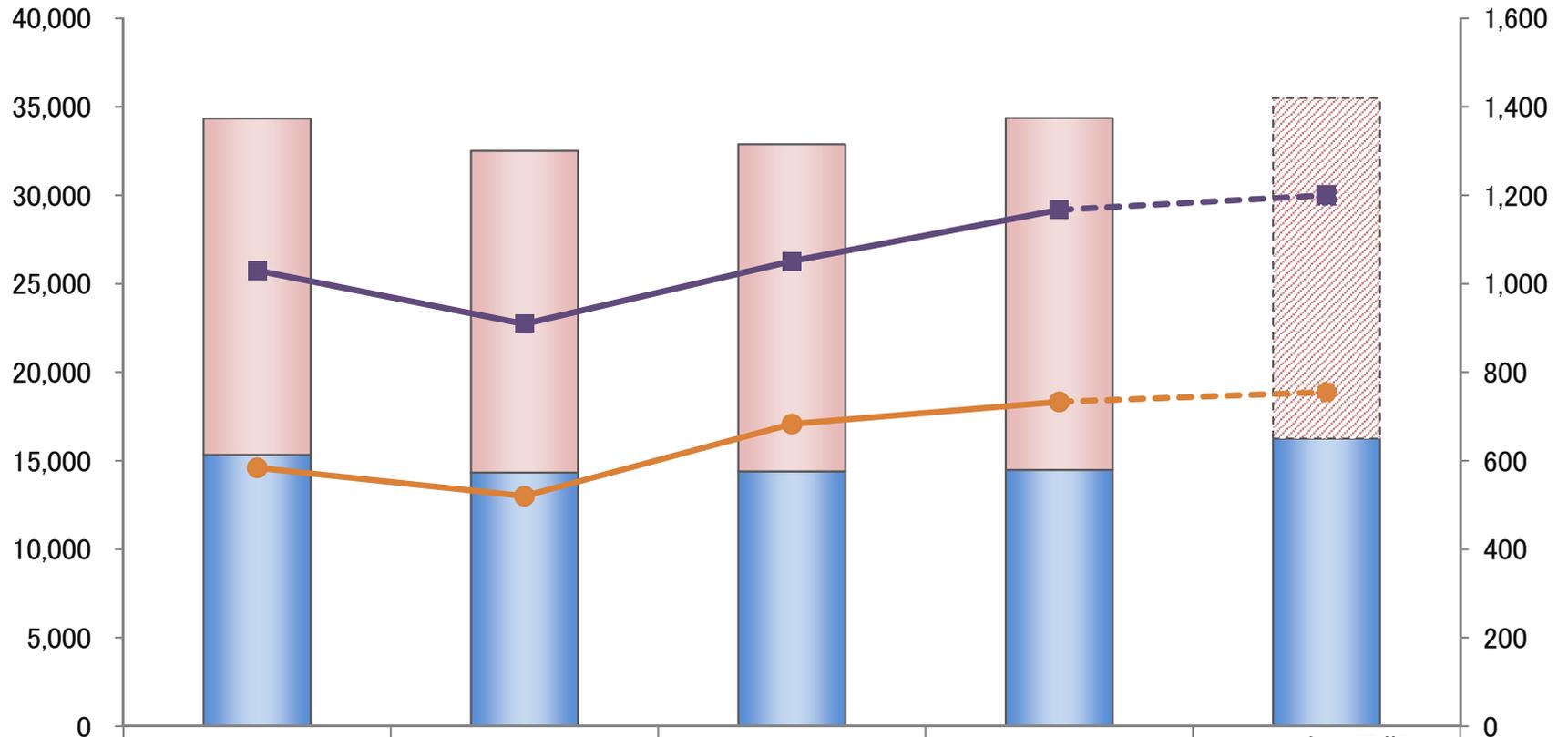
# 業界別売上高見通し

(単位:百万円)	2018年3月期	2019年3月期	前年同期比	構成比
プラント	5,412	5,400	△ 0.2%	15.2%
機械	4,358	4,600	+ 5.5%	13.0%
電気	3,242	3,300	+ 1.8%	9.3%
化学	3,090	3,200	+ 3.5%	9.0%
鉄鋼・ 非鉄金属	2,362	2,600	+ 10.0%	7.3%
造船	2,147	2,400	+ 11.8%	6.8%
電力	885	1,100	+ 24.2%	3.1%
その他	12,867	12,900	+ 0.3%	36.3%
合計	34,367	35,500	+ 3.3%	100.0%

(単位:百万円)



(単位:百万円)



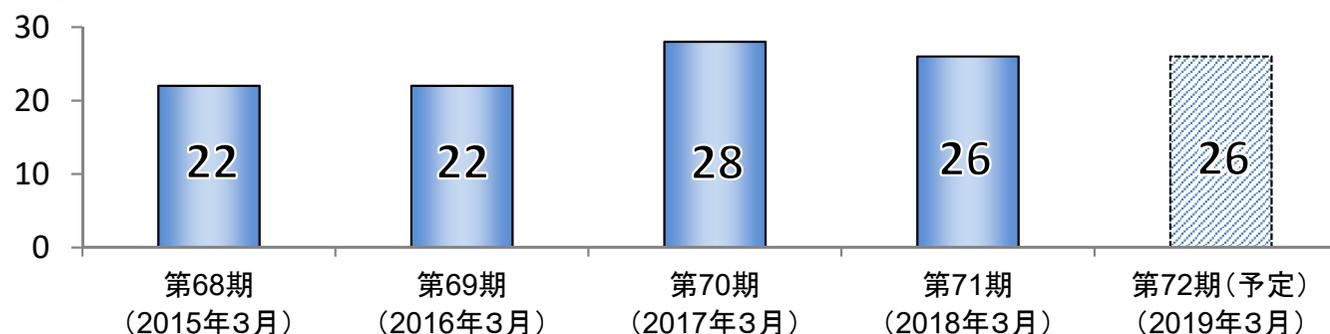
(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (見通し)
■ 3~4Q売上高(左軸)	19,001	18,178	18,490	19,888	19,248
■ 1~2Q売上高(左軸)	15,336	14,332	14,396	14,479	16,251
売上高	34,338	32,510	32,886	34,367	35,500
■ 経常利益(右軸)	1,030	909	1,051	1,167	1,200
● 親会社株主に帰属する 当期純利益(右軸)	584	520	683	733	755

## 普通配当

第68期 (2015年3月期)	第69期 (2016年3月期)	第70期 (2017年3月期)	第71期 (2018年3月期)	第72期(予定) (2019年3月期)
22円	22円	(※1) 28円	26円	26円

(単位:円)



(※1) 2017年3月期の配当金には、創業70周年記念配当2円が含まれております。

## 株主優待

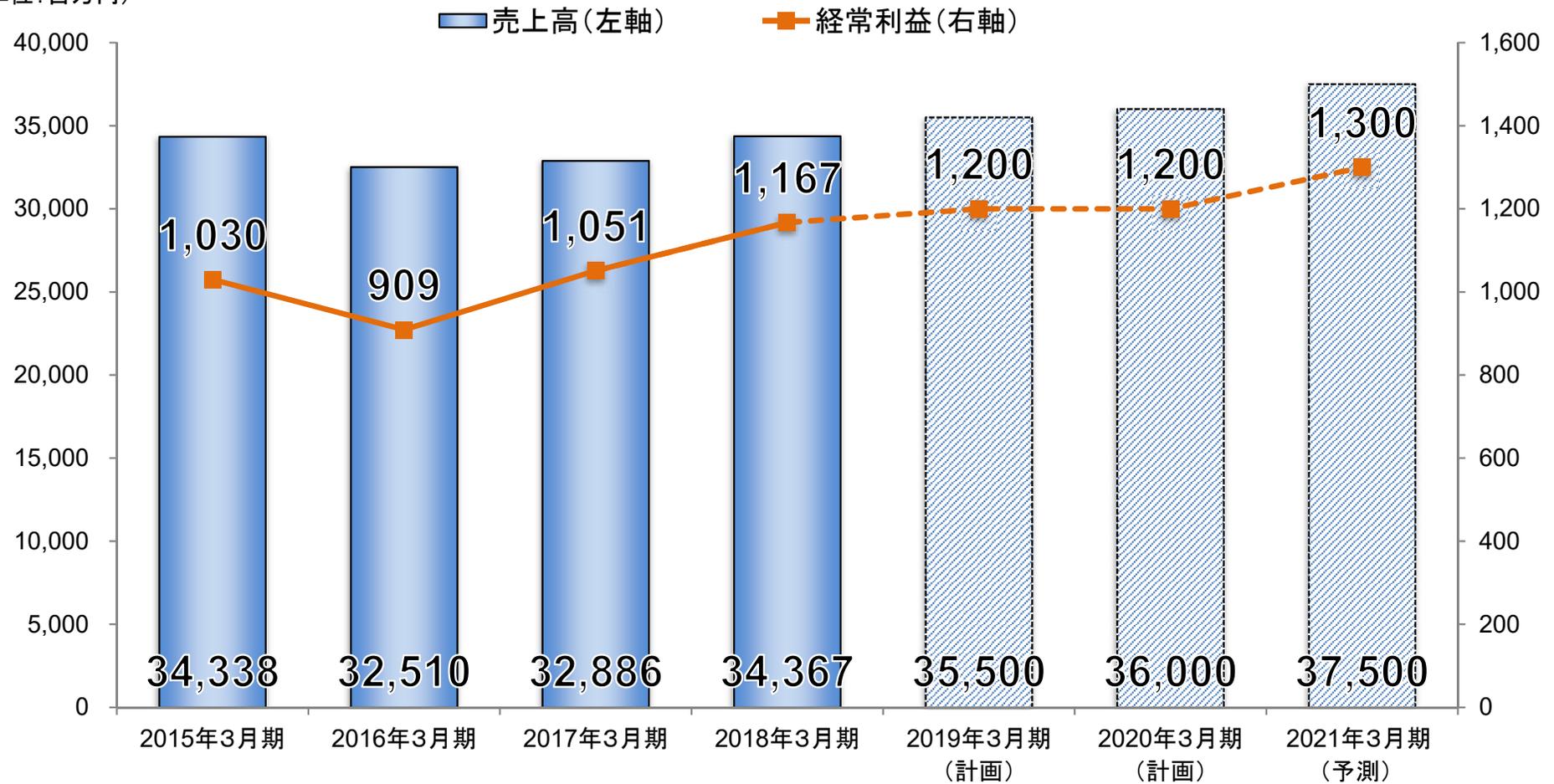
1. 対象となる株主様 毎年3月末日現在の当社株主名簿に記載された株主様を対象といたします。
2. 優待の内容 以下の基準により保有株式数と保有年数に応じてクオ・カードを進呈いたします。毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬に発送いたします。



保有株式数	継続保有3年未満	(※2) 継続保有3年以上
100株以上500株未満	500円分	1,000円分
500株以上	1,000円分	2,000円分

(※2) 「継続保有3年以上」とは、当社株主名簿に同一株主番号で継続して3年以上記載されることとします。

(単位:百万円)



	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
ROE (株主資本利益率)	7.8%	6.6%	8.2%	8.1%	目標: 8.0%		

本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL : 06-6539-4816

E-Mail : [ir-info@eiwa-net.co.jp](mailto:ir-info@eiwa-net.co.jp)

URL : <https://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。